

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

今回は、矢作新報社への寄稿内容から一部変更があります。

愛知県議会は来月2日より12月議会が始まりますが、9月議会から持越しとなった『個人県民税減税』の可否について本格的な議論が交わされると予想されていましたが、議会開会を前に『個人県民税の一律千円減税案』の12月議会への提案を断念し、事実上、来年度の『個人県民税減税』を行わない旨を大村知事が表明しました。

今回の大村知事の判断は、以前から経済効果等を疑問視していた私ども議会の意見を尊重した結果であり、大村知事の決断を高く評価すると共に、減税案とセットであった『子育て支援減税手当（総額100億円）』の創設、及び、新たに減税原資相当額（30億円）を基金に積み立て、障がい児者の福祉施設等の整備に充てるという提案がなされましたので、これらの提案については基本的には賛成ですが、使い道や効果等について、引き続き議論していきたいと思えます。

また、話は少し遡りますが、9月議会において、豊田市に関係の深い議案が2件可決されましたので、その事についてもご紹介したいと思います。

一つは『あいち森と緑づくり税』が5年間延長となった事ではありますが、豊田市は市面積の約7割を森林が占め、森林の荒廃等により本来森林が持つ治水等の自然環境保全能力の衰えが懸念されておりますが、この税が5年間延長された事を受け、森林整備が更に促進される事を期待しております。

もう一つは、皆様の念願であった『豊田警察署新庁舎』建設工事が決定した事ではありますが、現在の豊田警察署は建設後44年が経過し、耐震工事が必要であると同時に、留置施設等が不足するなど様々な問題を抱えていましたが、完成予定は平成27年7月であります。新庁舎が完成する事により、警察力が増強され、市内の治安向上に寄与する事を期待しております。



愛知県議会議員

こたま よしかず
樹神 義和